

MEJの目的は日本

医療の国際展開である。私は6月7日の健康・医療戦略参与会合で、日本の医療機器のライナップが限定的で、日本・世界市場を取るために、各国のニーズに合わせた健康・医療戦略が必要として三つの提案を出した。その第1が「市場の大きい日米欧を含めて、

クラスIV治療機器とプログラム医療機器を世界トップレベルにすることを目指す」ことである。

世界の医療機器市場は年平均成長率約5%を超え、2030年には約80兆円になると予

# 医療変革

## 未来からの反射 ⑦

# 医療産業の成長に不可欠

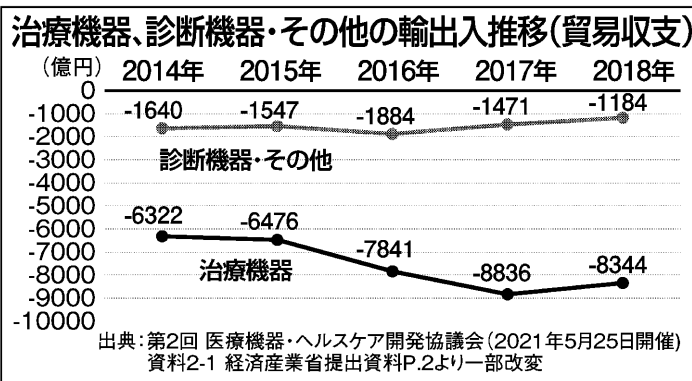
植込み型治療機器（人工メーカ）は世界ランキング10位に届かない。工関節、ステント、ペーシングなど）はほとんど輸入品である。

わが国では07年の「革新的医薬品・医療機器創出のための5カ年戦略」以降、積極的な医療イノベーション推進策がとられてきた。

想され、治療機器の市場規模は大きく成長する。日本の医療機器市場は04年以降成長し、世界2位の規模にある。競争力を持つが、クラスIV治療機器のイノベーションはほとんど起

る。大幅で、かつ拡大してこっていない。現在、日本は約80兆円になると予

## クラスIV治療機器でイノベーションを



植込み型治療機器（人工メーカ）は世界ランキング10位に届かない。

本年5月、第2期医

研究開発能力がないの

決定され、だろ

を及ぼす。日本では事

五つの重点領域にクラスIV治療機器は明記さ

大きく遅れており、ス

が、そのFirst in Humanを含む

課題である。特に、ハ

めた治験を実践するた

の投資先行型である

ものづ



Medica- Excellence JAPAN(MEJ) 理事長 笠貫 宏

期待したい。

次回の「医療変革」は12月22日に掲載予定